

ラムは、すべて、一人一人が学校などの教育現場で実際に行っていた、生きた開発教育の実践事例となっている。

「知識を得ることで終わらず、それを実践できる力を身に付けた人を一人でも多く育てたい。この研修で強制的に(笑)現場での実践をしてもらっているのは、そのためです」。そう話すのは、JICA中部と連携し、02年からこの研修の企画・運営を担当しているNPO法人NIED国際理解教育センター代表の伊沢令子さん。1997年から本格的に活動を開始した同センターは、国際理解教育のプログラム作成や参加型研修などで豊富な経験とノウハウを持つ。そして今、JICA中部の開発教育

教師海外研修でマラウイを訪れ、その成果を生かして開発教育を実践する教員



開発教育指導者研修のポスター発表の場で、自らの実践事例を報告する研修参加者。何かヒントが得られれば、と来場者も真剣だ

生きた実践事例を発表

2009年2月、愛知県名古屋市のとあるイベント会場は、100人以上の教員やNGO関係者らでにぎわっていた。この日は、JICA中部が年間計8日間の連続講座で行ってきた「開発教育指導者研修(上級編)」(以下、「指導者研修」)の最終日。参加者が、研修の成果を教育関



共に国際理解の輪を広げよう

「世界の現状や途上国の人々の暮らしを知り、日本とのつながりを考える」
例えばそんな国際理解の機会を教育現場や地域社会に広げようと、NPO法人NIED国際理解教育センターがJICA中部と手をつなぎ、地域の開発教育を支援している。



ブラジルに加え、フィリピンでも行われた教師海外研修。フィリピン・ネグロス島でマングローブの保全活動を行うNGO「イカオ・アノ」を訪ね、植樹体験を行った

係者などに発表する日でもある。来場者全員によるアイスブレイキングを経て、メインイベントの一つ、「開発教育実践報告ポスター」の発表会が始まった。大部屋の壁には、40人の研修参加者が作成したポスターがびっしりと並ぶ。「地球上の水全体のうち、人間が飲める量はどれくらい?」「このラーメンの原材料はどこから来たの?」。ポスター上

には、子どもたちの関心を引く個性豊かな授業テーマが並ぶ。また、授業の進め方、準備する資料やグッズなども分かりやすくまとまっている。来場者はそれぞれ興味のあるポスターの所へ行き、報告者の説明を聞く。熱心な説明と、来場者との質疑応答などで、室内の熱気は最高潮に。研修の成果を生かし、参加者が考え出したこれらの授業プロ



from 中部
CHUBU

支援において、欠かせないパートナーの一つとなっている。

JICAとの二人三脚で魅力あるプログラムを

午後には、日系ブラジル移民の実話に基づく創作劇が披露された。「慣れない土地、慣れない仕事に苦労しながらも、希望を失わず私たちは生きてきた」。演じていたのは、08年の夏休みを実施されたJICA中部の「教師海外研修」に参加した教員8人だ。訪問先のブラジルで、ある高齢の日系移民女性から聞いた話をもとに、皆でストーリーを作った。

JICA中部の教師海外研修は、毎年、指導者研修のプログラムとセットで行われている。「現地で途上国の現状を見たい」と



指導者研修で、グループワークの手助けをする伊沢さん(中央)。「最近では、他地域の指導者研修に招かれることも増えてきた」という

いう熱意を持った十数人が、毎年海を渡る。NIED国際理解教育センターは、JICAと調整しながら企画・立案、渡航前後の研修などを行うほか、現地にスタッフを同行させワークショップを開くなどして、参加者たちの学びを助けている。

「今も学校や地域などで、研修で学んだ開発教育を実践しています」と話すのは、06年度の研修に参加し、マラウイを訪問した富士市立吉原商業高校の若園耕平先生。「授業を通して世界観を広げていく生徒たちを見ると、これこそ、今の教育の閉塞感を解決するためのカギになるのではないかと感じます」。

NIED国際理解教育センターとJICA中部。常に二人三脚で魅力的な開発教育支援のプ

ログラム作りに努めてきた両者の取り組みで、中部地域の開発教育の輪は、年々大きくなりつつある。受講者のネットワークが広がり、自発的な学習グループを立ち上げたり、研修での学びを発展させ、各地域の開発教育イベントなどで講師を務めるケースも見られる。

「JICAの持つ国際協力の専門性と経験、多様なプログラムを活用することで、私たちの活動の幅も広がっています。両者が手を組むからこそ実現できる開発教育を、今後も追及していきたい」と伊沢さんは話す。

イベントの最後に、研修参加者が毎年恒例になっている一言で、会を締めくくった。「来年は、皆さんの番ですよ!」。輪が、また一つ広がった瞬間だった。



開発教育指導者研修、最終日の報告会を聞きに、100人以上が集まった

こんなことも! NGOとJICA中部の連携

JICA中部では、中部地域のNGOの活動をバックアップする「名古屋NGOセンター」との協働で、次のようなイベントも主催している。

- 「国際協カレッジ」
国際協力に関心がある人たちに、国際協力を学び、行動するきっかけを作ってもらうためのイベント。テーマ別の講座やブース出展など、地域のNGOが多数参加する。
- 「プロのアドバイスを受けてパンフレットをつくる研修」
NGOの広報ツールとして欠かせないパンフレットの作り方を学び、団体の広報力の向上を図る研修。原稿作成やレイアウトなど、プロの指導を受けることができる。

●「開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム2010」

2009年度の開発教育指導者研修(上級編)、教師海外研修の成果報告会を開催。
日時: 2010年2月7日(日) 10:00~16:40
場所: JICA中部 なごや地球ひろば
URL: <http://nied.love-hug.net/data/jica/forum10.pdf>